

2024年 第71回応用物理学会春季学術講演会シンポジウム

企画：量子エレクトロニクス研究会

量子エレクトロニクス研究会 50周年記念シンポジウム

日時：2024年3月24日（日） 13:30-17:00

場所：東京都市大学 世田谷キャンパス

趣旨：量子エレクトロニクス研究会はレーザーの黎明期から本分野の最先端を先導してきた、応用物理学会で最も歴史の長い研究会であり、2024年に50周年を迎えます。本シンポジウムでは、研究会の歴史を振り返りつつ、量子エレクトロニクスの今後の展開を議論します。また、昨年逝去された初代委員長の霜田光一先生の追悼も企画しています。

プログラム

13:30-13:35 開会挨拶 岩本敏（東大）

13:35-14:05 矢島 達夫、神谷 武志、清水 忠雄、

清水 富士夫、山本 喜久

「霜田光一先生と量子エレクトロニクス研究会」

14:05-14:30 五神 真（理研）

「量子エレクトロニクスと光物性の出会い」

14:30-14:55 平野 琢也（学習院大）

「量子エレクトロニクス研究会の現状とこれから」

14:55-15:20 納富 雅也（東工大）

「物性物理と光学の第三の交わり」

15:30-15:55 早瀬 潤子（慶應大）

「量子エレクトロニクス研究会とともに歩んだ25年」

15:55-16:15 田淵 豊（理研）

「国産超伝導量子コンピュータ」

16:15-16:35 松永 隆佑（東大）

「テラヘルツ光で調べる高速電荷輸送と機能性開拓」

16:35-16:55 井手口 拓郎（東大）

「量子エレクトロニクスが拓く中赤外分光細胞計測」

16:55-17:00 閉会挨拶 庄司一郎（中央大）

世話人：岩本敏（東大）、小関泰之（東大）